

全  
広  
連

二〇三三年七月五日発行 / 奇数月1回5日発行 / 通巻二〇六号 / 昭和三十九年二月十二日第三種郵便物認可  
発行 / 公益社団法人全日本広告連盟 〒104-0061 東京都中央区銀座七丁目四番十七号電通銀座ビル7F  
電話 03-3569-3566 www.ad-zenkoren.org  
定価 450円 (購読料は金費に含む)

広告の元気は、ニッポンの元気。

# 全 広 連

Special Report

全広連創立70周年記念 第71回全広連金沢大会



山口県 周防大島町 / ニホンアワサンゴとコケギンポ



公益社団法人  
全日本広告連盟  
JAPAN ADVERTISING FEDERATION

www.ad-zenkoren.org

## 「大会を終えて」



第71回全日本広告連盟  
金沢大会組織委員会 会長  
砂塚 隆広

第71回全日本広告連盟金沢大会は5月17、18日の2日間、金沢市内を中心に開催されました。コロナ禍を乗り越え、リアル開催としては4年ぶりとなるフルスケールの大会に、全国から1,000人を超える皆様にお越しいただいたことに、厚く御礼を申し上げます。

開会のご挨拶で申し上げました通り、当地では5月5日に能登半島の珠洲市で震度6強の地震があり、人的、物的被害が発生しました。余震も続き、被災地の方々は不安な日々を送っておられます。金沢大会に参加していただいた皆様のご支援を賜りながら挙行できたことは、被災地の方々に勇気づけました。

今年は「加賀國」が誕生して1200年、来年春には北陸新幹線が石川県内で全線開通し、福井県敦賀市まで延伸します。その意味でも、2015(平成27)年以來、8年ぶりとなる全広連大会の金沢開催は大きな意義を持つものでした。

今大会のテーマである「広告は新たな時代への門だ。」は、金沢駅を象徴する駅正面の「鼓門」をイメージしたものです。人々の価値観が多様化し、世界情勢がめまぐるしく変化する中、未知なる世界の入り口である「門」をくぐり、新たな時代を映す広告の力と、可能性を見いだす大会にしたいとの思いを込めました。

大会はひがし、にし、主計町の芸妓衆15人による金沢素囃子「寿三番叟」と、オーケストラ・アンサンブル金沢の二重奏で幕を開けました。式典の後、北國新聞で歴史小説「銀嶺のかなた一利家と利長」を連載している直木賞作家・安部龍太郎氏の講演が行われました。安部氏は、織田信長が自らの覇業を成し遂げるため、安土城をはじめさまざまな「広告」を駆使していたとし、広告の力の大きさをあらためて強調されました。経営者と共に新たな価値創造に取り組むクリエイターと研究者5氏が広告業界の活性化について意見交換する全広連70周年記念トークセッションも、ご好評をいただきました。

2日目は金沢や加賀を巡る3コースで視察・見学会、片山津ゴルフ倶楽部で懇親ゴルフを実施しました。大勢の皆様が石川の歴史や工芸、建築をはじめとした文化の魅力を味わっていただき、ようやくフルスケールの大会に戻ったことを実感できました。

メディアが多様化する中、広告の役割はますます重要になっています。この大会を機に、これからも皆様と手を携えて、新時代を拓く広告の可能性を探っていけたら幸いです。最後になりましたが、多大なご支援を賜りました関係者の皆様に重ねて感謝を申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を祈念し、挨拶とさせていただきます。

広告の元気は、ニッポンの元気。

2023

# 全広連 7

Vol.1106

## CONTENTS

- 2 Special Report 全広連創立70周年記念  
第71回全広連金沢大会開く
- 4 ..... 第2回「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」  
各部門の受賞作品紹介
- 6 ..... 第2回「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」  
ロゴデザインを刷新し、トロフィー・表彰状デザインもリニューアル
- 7 大会祝賀 【金沢大会 祝賀広告】
- 10 ..... 通常総会・理事会報告
- 12 ..... CLIP BOARD

## Cover photo & Off shot

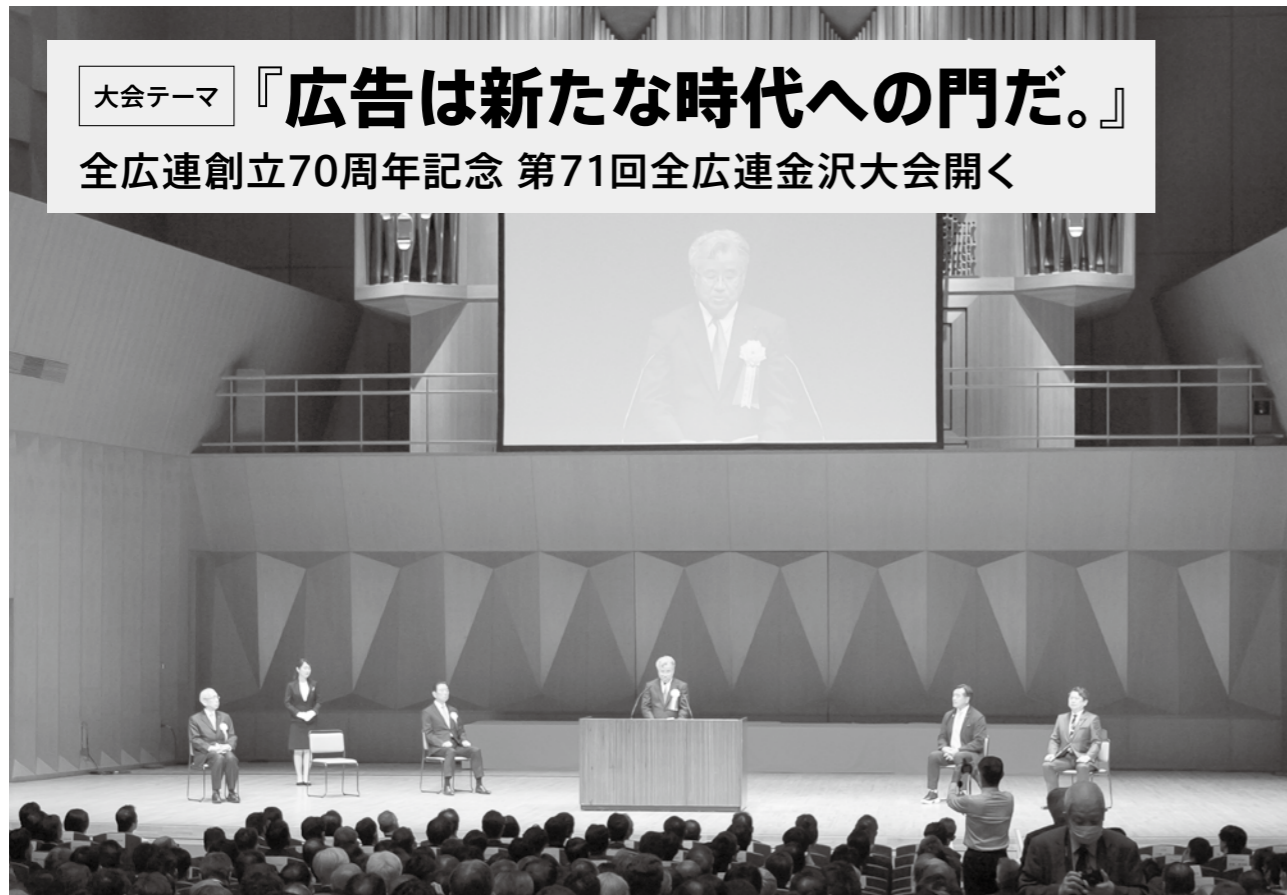
広島市から車で1時間半ほど。山口県周防大島の沖合には国内最大規模のニホンアワサンゴの群生地がある。海に潜って藻場や岩場をしばらく進むと、鮮やかな緑色の触手を放射状に広げて出迎えてくれた。集まって波に揺られる姿は海中の花畑のようだ。周りには多くの魚たちが暮らしている。サンゴが生える岩場の隙間から顔をのぞかせるのはコケギンポ。真っ赤な体が緑の世界に映える。メバルやスズメダイ、数種類のベラの仲間も見られ、豊かな生態系が保たれていると実感する。

2013年2月、瀬戸内海国立公園で初めて海域公園地区に指定され、23年秋には近くに自然体験や環境学習の拠点施設がオープンする予定。島の活気とともに、海の世界を大切にする機運がさらに高まっていくことを願う。



撮影と文：中国新聞社 河合佑樹記者  
協力：広島広告協会





大会テーマ 『**広告は新たな時代への門だ。**』  
全広連創立70周年記念 第71回全広連金沢大会開く

第71回全日本広告連盟金沢大会(主催:同大会組織委員会、(公社)全日本広告連盟)が、全広連創立70周年記念大会として、大会テーマ『広告は新たな時代への門だ。』のもと、5月17日、18日、金沢市の石川県立音楽堂を主会場に開かれた。4年ぶりにフルスケールでの開催となり約1,000人が参加した。

大会は、ひがしにし・主計町の芸子衆による「金沢素囃子(すばやし)」のオープニングアトラクションで幕を開けた。福光松太郎金沢大会組織委員長が開会宣言を行い、式典がスタート。砂塚隆広全広連金沢大会会長が「次の時代にふさわしい広告の姿を見いだす大会にしたい」と歓迎挨拶を述べた。



オープニングを飾った金沢素囃子

続いて大平明全広連理事長が登場。「メディアが多様化する中、広告はますます重要になっている。新しい時代の広告の役割を考えていきたい」と開会挨拶を行った。その後、馳浩石川県知事、村山卓金沢市長がそれぞれ祝辞を述べた。



福光組織委員長による開会宣言



式典中の会場

続いて「第11回全広連日本宣伝賞」各賞の贈賞式が行われた。〔松下賞〕に新浪剛史氏(サントリーホールディングス(株) 代表取締役社長)、〔正力賞〕に大崎洋氏(吉本興業ホールディングス(株) 前・代表取締役会長)、〔吉田賞〕に滝久雄氏(株)エヌケービー/株)ぐるなび 取締役会長・創業者)、〔山名賞〕に小池一子氏(クリエイティブディレクター)がそれぞれ選ばれ、各受賞者が謝辞を述べ、ご欠席の新浪剛史氏の謝辞を鈴木あき子氏(サントリーホールディングス(株) 宣伝部長)が代読した。



左から鈴木氏、大崎氏、大平理事長、滝氏、小池氏

続いて地域活性化に貢献した優れた広告を顕彰する「第2回鈴木三郎助全広連地域広告大賞」の贈賞が行われた。最優秀賞には沖縄本土50周年に平和を訴えた沖縄タイムス社と琉球新報社の共同広告「ハブとマンゲースの対話」が選ばれ、〔プリント部門〕、〔フィルム・オーディオ部門〕、〔チャレンジ部門〕、〔キャンペーン部門〕の4部門各賞も表彰された。

※受賞作品をP4、5で紹介しています。



沖縄タイムス社と琉球新報社がともに最優秀賞を受賞

最後に、大平明全広連理事長より、来年5月の第72回全広連大会を東京で開催することをアピールし、大会式典は終了した。



2024年東京大会を宣言する大平理事長

続く記念講演では、直木賞作家の安部龍太郎氏が「戦国を生き抜いた武将たち」のテーマで織田信長の広告戦略にふれ、安土城は信長の政策を世に広めるための広告塔だったと持論を語り、午前の部は終了した。



熱く講演する安部氏

昼食をはさみ、全広連創立70周年記念トークセッションが行われた。佐々木康晴氏(株)電通)、石川善樹氏(公益財団法人Well-being for Planet Earth)、小布施典孝氏(株)電通)、太田麻衣子氏(株)博報堂、(株)博報堂クリエイティブ・ヴョックス)、水口克夫氏(株)Hotchkiss)が登場し、「経営者と向き合うクリエイティビティ」をテーマに、経営者と共に新たな価値創造にいかに取り組み広告業界の活性化を行うかについて意見交換した。



盛り上がったトークセッション

夕刻から懇親会がANAクラウンプラザホテル金沢で開かれ、参加者は金沢ならではの美酒・美食を堪能し懇親を深めた。会場からは「久しぶりに対面で行うイベントはやはりいいものだ」との感想が聞かれた。



多くの参加者で盛り上がった懇親会



賑わいを見せた金沢の名産品コーナー

翌18日は金沢や南加賀の各コースでの視察・見学会や懇親ゴルフ会が実施され、大会は盛況のうちに終了した。



本賞は地域の産業・経済・文化スポーツに関する広告活動を通じて、日本各地の地域活性化に貢献した優れた広告コミュニケーション活動を顕彰することで地域活性化を促進することを目的としています。「プリント部門」「フィルム・オーディオ部門」「チャレンジ部門」「キャンペーン部門」の4部門で構成され、各部門から2作品、計8作品の部門賞を選出、さらにその中から最優秀賞として1作品を選出しました。

第2回となる今回は、各地広告協会および一般から104作品がエントリーされ、全広連8ブロック委員と外部有識者で構成される選考委員会によって審査が行われました。受賞作品と審査員コメントは次の通りです。

## プリント部門



### 最優秀賞 および プリント部門賞

▲ 株式会社沖縄タイムス社、株式会社琉球新報社(社名50音順) / 「ハブとマンガースの対話」(新聞)

### プリント部門賞

● 株式会社子重 / 「本日の目玉!! 正社員大募集」(新聞)

土橋通仁氏 | 株式会社電通中部オフィス セネラルマネージャー  
グループクリエイティブディレクター アートディレクター

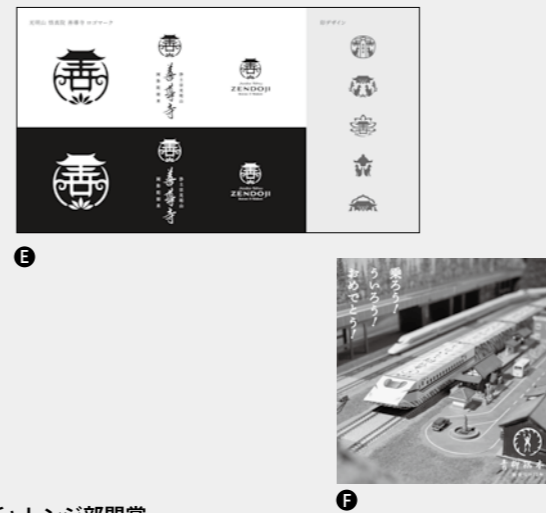
### ■受賞作品について

静岡の田子重の新聞広告、沖縄タイムス社と琉球新報社の共同企画広告。惜しくも次点だった大分の佐伯市観光協会の広告なども含め上位にきたものは、企業課題だけでなく、地域課題・社会課題までを見つめ、解決しようと一生懸命取り組んでおり、制作チームとクライアントとの関係性や、熱い思いが伝わるものが多かった。しかもアイデアやクオリティ・オリジナリティーに優れていた点が評価され、接戦を制し上位にきた。

### ■審査した作品の総評

去年はプリント媒体の新しい使い方を見せてくれるものが多かったが、今年は全体的にトラディショナルなスタイルに戻った印象。コロナ禍だったことがかなり影響していると感じた。日本全国の地域の企業の広告づくりはかなりの予算制限もあり大変だったと思う。しかしそんな逆境下でも、一枚のプリント広告から企業の思いや地域住民の思いを波及させ、機能をさせていく設計を目の当たりにした。自然と審査投票も熱くなった。

## チャレンジ部門



### チャレンジ部門賞

● 宗教法人 善導寺 / 「光明山 悟真院 善導寺広報企画」(動画、WEBサイト、アプリケーション)  
● 株式会社青柳総本家 / 「乗ろう! いろいろ! おめでとう! 新幹線のぞみ30周年」(ポスター、SNS)

鷹背愛郎氏 | 株式会社博報堂 クリエイティブディレクター  
株式会社東北博報堂 エグゼクティブクリエイティブディレクター

### ■受賞作品について

松江「善導寺」は、「閉ざされた場」になっていた寺院を、説法などに縛られないイベントやデジタル発信で、若者までが集いなくなる「開かれた場」にするチャレンジが評価された。デジタル御朱印帳というコロナ対応も見事だ。地域寺院の「未来見本」になると感じた。愛知「青柳総本家」は、つい守りに入ってしまうがちな老舗のチャレンジが秀逸だ。のぞみ30周年というチャンスを逃さず、実にウイットのあるパッケージデザインで、本丸のお土産ビジネスを一気にアップデートした手口の鮮やかさに評価が集まった。

### ■審査した作品の総評

いま地域の広告には、チャレンジが求められている。成果が出ないままになっている広告は、迷わず変える節目が来ている。変化を恐れず、ピンチをチャンスに。シュリンクしている業態には、未来を変える戦略からのチャレンジを。数字が伸び悩んでいるブランドには、新たなマーケットチャレンジを。「くすぶり」を「きらめき」にした地域事例が、今年の部門賞に輝いた。

## フィルム・オーディオ部門



### フィルム・オーディオ部門賞

● 社会福祉法人 村上岩船福祉会 / 「村上岩船福祉会リクルーティングムービー【season2】」(動画)  
● 岡山トヨペット株式会社 / 「初心にかえろう岡山県」(CM)

今井美緒氏 | 株式会社BBDO WEST  
クリエイティブディレクター コピーライター

### ■受賞作品について

村上岩船福祉会のリクルーティングムービーのすごいところは、とにかく嘘をついていないこと。少しは自分を良く見せたいのが普通だが、徹底して正直であることから逃げておらず、そこが信頼や魅力を高めることに大きく貢献している。また最後まで楽しく見られるよう工夫しており、文句なしに素晴らしい作品であった。岡山の交通マナー啓発も手法は違うが地域の課題に正面から向き合っており、伝わりやすさや最後まで興味を惹かせる工夫が秀逸で、映像としてのパワーがあった。

### ■審査した作品の総評

どの作品も新鮮さやアイデア、そして地域ならではのおもしろいメッセージがこもっており、うれしい悩みではあるがどれか2つを選ぶのが非常に苦しかった。私以外の審査員も選ぶのに苦慮しており、実際の審査も非常に接戦であった。だから受賞していない出品者も誇りに思っしてほしい。自身も地域で働くクリエイターであるが、まだまだ新しいメッセージや表現の方法はあるのだと逆にエールをもらった気がして、個人的には非常に勇気づけられた審査であった。

## キャンペーン部門



### キャンペーン部門賞

● 株式会社山陰中央新報社 / 「新聞を配ることは、気を配ること。」(新聞、テレビ、ラジオ、ポスター)  
● セイカ食品株式会社 / 「南国白くま 巨大電車広告」(OOH)

田中里沙氏 | 事業構想大学院大学 学長

### ■受賞作品について

地域は、社会課題の最先端だと言われる。解決をするには、テーマの捉え方に加えて、見せ方、知らせ方、広げ方への工夫と心配りが必要だ。いま日本各地で「共創」を掲げ、多様な主体が連携をして新しい価値を創出しているが、最も大切なことは、活動そのものの意味を共有すること、きっかけや気づきを与えること。当事者として暮らし、仕事をする方々の本気が伝わってくる作品の数々がその道筋を照らした。

### ■審査した作品の総評

キャンペーンの規模、対象者は多種多様で比較は難しい。展開される場所、空間の特徴や個性、感性といった核を踏まえて実行した内容がどのように受け入れられたか、接した人たちの気持ちはどう動いたかに思いを馳せた。山陰中央新報社の経営資源がビジュアルとキャッチフレーズで魅せられて、中の人は士気を、顧客は愛着を高めた。南国白くまは存在感を強めた。地域社会に活気や自信をもたらすアイデアと実践が魅力的だった。

## 第2回 鈴木三郎助全広連地域広告大賞

ロゴデザインを刷新し、  
トロフィー・表彰状デザインも  
リニューアル

今回より本賞のロゴデザインを刷新し、受賞者に贈られるトロフィー・表彰状のデザインもリニューアルしました。  
コンセプトムービーを全広連HP上で公開しています。どうぞご覧ください。

## — ロゴ作成コンセプト —

全広連の『帆』をモチーフにした  
ロゴマークを生かしつつ、  
さまざまな風を受けて  
今を走る様子を表現しています。

鈴木三郎助  
全広連地域  
広告大賞

新しいロゴデザイン



コンセプトムービーより  
新しい賞状とトロフィー

## クリエイティブスタッフ (敬称略)

〔クリエイティブ&アートディレクター&コピー〕 株式会社電通中部オフィス/土橋通仁  
〔アカウントプランナー〕 株式会社電通中部オフィス/伊藤俊樹  
〔アートディレクター&デザイナー〕 トロロブ/白澤真生  
〔フィルムディレクター〕 株式会社コーポレーションTAKI iC/伊藤健汰  
〔クリエイティブサポート〕 株式会社コーポレーションTAKI iC/川畑裕己  
〔クリエイティブサポート〕 株式会社コーポレーションTAKI iC/加藤夢也  
〔プロダクトデザイナー〕 株式会社COMURA/野口大輔  
〔フォトグラファー〕 DARUMA/尾崎芳弘  
〔CIデザイナー〕 株式会社メディア・エーシー/佐竹直美  
〔トランスレーター〕 40HATTEN/Frederic Dumaban

全ての受賞作品、新しいロゴデザインコンセプトムービーは全広連HPでご覧になれます。 [全広連](#)

## 広告は新たな時代への門だ。～加賀国立国千二百年～

〈順不同〉

<p>安全と快適を生む環境づくり 株式会社 アイビックス 福井市下馬2-101</p>	<p>Eat Well, Live Well. 東京都中央区京橋 1-15-1</p>	<p>金沢エムザ 株式会社 金沢丸越百貨店 金沢市武蔵町15-1</p>
<p>敷島製パン株式会社 名古屋市中区白壁5-3</p>	<p>京都市左京区聖護院山王町6</p>	<p>東京都中央区銀座1-26-1</p>
<p>東京都中央区日本橋3-14-10</p>	<p>東京都豊島区高田3-24-1</p>	<p>喜びのタネをまこう 吹田市豊津町1-33</p>
<p>ながの東急百貨店 長野市南千歳1-1-1</p>	<p>大阪市淀川区西中島4-1-1 東京都新宿区新宿6-28-1</p>	<p>Quality Company, Good Company. 金沢市広岡2-12-6</p>
<p>大阪市中央区難波千日前11-6 東京都新宿区新宿5-18-21</p>	<p>東京都中央区築地5-3-2</p>	<p>東京都千代田区大手町1-7-2</p>
<p>東京都千代田区大手町1-3-7</p>	<p>東京都千代田区一ツ橋1-1-1</p>	<p>東京都千代田区大手町1-7-1</p>
<p>本社 名古屋市中区三の丸1-6-1 東京本社 東京都千代田区内幸町2-1-4</p>	<p>札幌市中央区大通西3-6</p>	<p>本社 福岡市中央区天神1-4-1 北九州本社 北九州市小倉北区堺町1-2-16</p>
<p>THE TO-O NIHO PRESS 青森市第二間屋町3-1-89</p>	<p>盛岡市内丸3-7</p>	<p>仙台市青葉区五橋1-2-28</p>
<p>秋田市山王臨海町1-1</p>	<p>福島市太田町13-17</p>	<p>福島市柳町4-29</p>
<p>横浜市中区太田町2-23</p>	<p>新潟市中央区万代3-1-1</p>	<p>長野市南県町657</p>



広告は新たな時代への門だ。～加賀国立国千二百年～

〈順不同〉

<b>北日本新聞社</b> 富山市安住町2-14	<b>13C 北國新聞社</b> 金沢市南町2-1	<b>福井新聞社</b> 福井市大和田2-801
<b>岐阜新聞</b> 岐阜市今小町10	<b>神戸新聞社</b> 神戸市中央区東川崎町1-5-7	<b>山陽新聞社</b> 岡山市北区柳町2-1-1
<b>中国新聞社</b> 広島市中区土橋町7-1	<b>ID 徳島新聞社</b> 徳島市中徳島町2-5-2	<b>愛媛新聞社</b> 松山市大手町1-12-1
<b>高知新聞社</b> 高知市本町3-2-15	<b>沖縄タイムス社</b> 那覇市久茂地2-2-2	創刊130年 <b>琉球新報社</b> 那覇市泉崎1-10-3
言葉と、生きていく。 <b>SEIKYOSHIMBUN</b> 東京都新宿区信濃町7	<b>KODANSHA</b> 東京都文京区音羽2-12-21	株式会社 <b>小学館</b> 東京都千代田区一ツ橋2-3-1
<b>中央公論事業出版</b> 東京都千代田区神田神保町1-10-1 IVYビル	<b>マガジハウス</b> 東京都中央区銀座3-13-10	<b>HBC 北海道放送</b> 札幌市中央区北1条西5-2
<b>Tokyofm</b> Life time audio 80.0 東京都千代田区麹町1-7	<b>TBS</b> 東京都港区赤坂5-3-6	<b>tv asahi</b> 東京都港区六本木6-9-1
<b>TV TOKYO テレビ東京</b> 東京都港区六本木3-2-1	<b>TOKYO MX</b> 東京都千代田区麹町1-12	<b>BS朝日</b> 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
<b>BS-TBS</b> 東京都港区赤坂5-3-6 TBS放送センター	<b>BSテレ東</b> BSテレ東4K 7ch 東京都港区六本木3-2-1	<b>BSフジ</b> BSフジ4K 東京都港区台場2-4-8 フジテレビメディアタワー
<b>文化放送</b> FM91.6 / AM1134 東京都港区浜松町1-31	<b>石川テレビ</b> 8ch 金沢市観音堂町18	<b>テレビ金沢</b> 金沢市古府2-136

広告の元気は、ニッポンの元気。

〈順不同〉

<b>北陸朝日放送</b> 金沢市松島1-32-2	<b>MRO 北陸放送株式会社</b> 金沢市本多町3-2-1	<b>FBC 福井放送</b> 福井市大和田2-510
<b>CBCテレビ</b> 名古屋市中区新栄1-2-8	<b>CHUKYO TV</b> 名古屋市中村区平池町4-60-11	<b>8カンテレ</b> 大阪市北区扇町2-1-7
<b>MBS 毎日放送</b> 大阪市北区茶屋町17-1	<b>ytv 読売テレビ</b> 大阪市中央区城見1-3-50	<b>rkb</b> RKB毎日放送株式会社 福岡市早良区百道浜2-3-8
<b>KBC</b> 九州朝日放送株式会社 福岡市中央区長浜1-1-1	<b>ピコッと。TNC 65th</b> 福岡市早良区百道浜2-3-2	<b>FBS 福岡放送</b> 福岡市中央区清川2-22-8
<b>I&amp;S BBDO</b> 東京都中央区晴海1-8-10	<b>ADK</b> 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー	株式会社 <b>オリコム</b> 東京都港区新橋1-11-7 新橋センタープレイス
<b>・HAKUHODO・</b> 九州博報堂 福岡市中央区天神1-4-1	株式会社 <b>京橋エイジェンシー</b> 東京都千代田区外神田5-4-4	ADVERTISING&MARKETING 株式会社 <b>サン・エージェンシー</b> 那覇市上之屋314-2
株式会社 <b>ジェイアール東日本企画</b> 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5	株式会社 <b>新東通信</b> 名古屋市中区丸の内3-16-29	株式会社 <b>大広</b> 東京都港区芝2-14-5
<b>TBWA \ HAKUHODO</b> 東京都港区芝浦1-13-10 第3東運ビル	株式会社 <b>電通グループ</b> 東京都港区東新橋1-8-1	<b>dentsu</b> 株式会社 電通アドギア 東京都中央区銀座8-21-1
株式会社 <b>電通東日本</b> 東京都港区新橋4-21-3	株式会社 <b>東急エイジェンシー</b> 東京都港区西新橋1-1-1	株式会社 <b>とうこう・あい</b> 東京都中央区銀座7-13-12
株式会社 <b>内藤一水社</b> 東京都千代田区麹町3-2	<b>ADEX</b> 株式会社 日本経済広告社 東京都千代田区神田小川町2-10	<b>Hakuhodo DY holdings</b> 東京都港区赤坂5-3-1

## 広告は新たな時代への門だ。～加賀国立国千二百年～

〈順不同〉

<p><b>・HAKUHODO・</b></p> <p>東京都港区赤坂5-3-1</p>	<p><b>Hakuhodo DY media partners</b></p> <p>東京都港区赤坂5-3-1</p>	<p><b>・PRODUCT'S・</b></p> <p>東京都江東区豊洲5-6-15 NBF豊洲ガーデンフロント</p>
<p><b>メトロアドエージェンシー</b> Metro Ad</p> <p>東京都港区西新橋1-6-21 NBF虎ノ門ビル</p>	<p>株式会社 <b>読売広告社</b></p> <p>東京都港区赤坂5-2-20</p>	<p>株式会社 <b>オトムラ</b></p> <p>金沢市畷田西4-67</p>
<p><b>ad:tech tokyo</b></p> <p>東京都港区六本木6-15-1 六本木ヒルズけやき坂テラス</p>	<p><b>TFC</b> 東北新社</p> <p>東京都港区赤坂4-8-10</p>	<p><b>凸版印刷株式会社</b></p> <p>東京都文京区水道1-3-3</p>

## 通常総会・理事会報告

### 金沢で第71回通常総会開く 令和4年度決算などを承認

全広連金沢大会前日の5月16日、第71回通常総会が正会員総数37広告協会のうち、正会員代表者24名が出席、13名から委任状を受けて、金沢市のホテル日航金沢で開催された。

はじめに大平明全広連理事長が、「金沢大会に向けて精力的にご準備いただいたご関係の皆様のご尽力に感謝申し上げます。加盟37広告協会の皆様と連携を深め、広告の力で地域から日本を元気にしていきたい。」と開会挨拶。定足数の充足を確認したあと大平理事長は議長席につき、議事録署名人を選任したのちに議事に入った。

田中洋志筆頭執行理事の司会進行で、第1号議案[令和4年度決算書類承認の件]、第2号議案[理事選任

の件]についてそれぞれ審議し、委任出席含め満場異議なく承認した。



総会では令和4年度決算などを承認

このほか、令和4年度事業の内容など、主に3月6日と4月21日の理事会で決定した事項についての報告を行い、本総会は閉会した。

(議題一覧は次ページ参照)

引き続き、同総会に出席した理事・監事は別室に移動し、令和5年度第2回理事会を開催し、副理事長選定を行った。



理事会の様子

理事会終了後は再び総会会場に移り、田中筆頭執行理事が、本理事会で片上崇氏(東京広告協会理事)が新たに全広連副理事長に選定されたことを報告した。

最後に、砂塚隆広全広連金沢大会会長より翌日からの金沢大会開催にあたっての挨拶と、同大会事務局から連絡事項が説明され、すべて終了した。



翌日からの大会について挨拶する砂塚氏

#### 【第71回通常総会議題】

- 第1号 令和4年度事業報告の内容報告の件
- 第2号 令和4年度決算書類承認の件(第1号議案) 監査報告
- 第3号 理事選任の件(第2号議案)
- 第4号 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結報告の件
- 第5号 令和5年度事業計画及び収支予算の内容報告の件
- 第6号 第2回鈴木三郎助全広連地域広告大賞受賞者報告の件
- 第7号 第11回全広連日本宣伝賞受賞者報告の件
- 第8号 第72回(令和6年度)全広連大会の概要報告の件

#### 全広連新役員一覧(敬称略・順不同、令和5年5月16日現在) ※は新任

理事長	大平 明	(公社)東京広告協会 理事長
副理事長	砂塚隆広	金沢広告協会 会長
	片上 崇※	(公社)東京広告協会 理事
筆頭執行理事	田中洋志	(公社)東京広告協会 専務理事
執行理事	東末吉史	(公社)東京広告協会 常務理事
理事	井上 周	山形広告協会 理事長
	長倉 勉	横浜広告協会 理事
	谷重耕平	岐阜広告協会 理事
	坂本 敬※	神戸広告協会 理事
	増田泉子	広島広告協会 理事長
	伊藤能一	高知広告協会 専務理事
	西山治宏	福岡広告協会 理事長
監事	中谷弥生	(公社)東京広告協会
	石部哲也	静岡県広告協会 事務局長



## TOPICS

### 第72回(令和6年度)全広連東京大会開催について

来年の第72回全広連大会は、東京で開催することが決定しました。東京での開催は、第1回(昭和28年)から第30回(昭和57年)まで計10回を数え、今回で42年ぶり11回目。今後も継続して全広連と37広告協会とのつながりを培っていくため、ミニマムな形で大会を開催することに決定しました。

- 【主催】第72回全日本広告連盟東京大会組織委員会  
公益社団法人 全日本広告連盟
- 【開催協会】公益社団法人 東京広告協会
- 【開催地】東京都
- 【日時】令和6年5月15日(水) 15:00～開催予定
- 【会場】帝国ホテル
- 【内容】全広連日本宣伝賞・鈴木三郎助全広連地域広告大賞の贈賞  
全体懇親会

※全広連総会は同日13:00～開催予定

### 第34回(令和5年度)全広連広告大学、8月よりインターネット配信にて開催!

第34回全広連広告大学は、公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団の協賛のもと、8月より実施します。全6講義のプログラムとし、より広く会員等に受講機会を提供するため、事前申込者を対象としてインターネット配信の形式で開催します。

詳細は、本誌同封のチラシをご覧ください。

#### ■第34回全広連広告大学〈全6講義〉

- 受講対象者・費用: 会員および会員の所属する会社の方(無料)、一般(有料20,000円)
- 申込方法: 7月5日よりチケットサイトPeatixにて申込受付。全広連HPからのアクセスが便利です。 [全広連](#) 🔍
- 配信: 8月8日より第1講配信、以降8月23日より1週間に1回の頻度で配信

## INFORMATION

### 加盟各地広告協会 人事 [順不同・敬称略]

全日本広告連盟	【会長】	小林健(日本商工会議所 会頭)	4月21日付
徳島広告協会	【事務局長】	堀井俊之((一社)徳島新聞社 営業局次長)	5月26日付
長崎広告協会	【会長】	大澤徹也(株テレビ長崎 代表取締役社長)	5月29日付
	【事務局長】	浦川博史(株テレビ長崎 営業部長)	5月29日付
沖縄広告協会	【理事長】	又吉直人(株ラジオ沖縄 執行役員営業局長)	5月24日付
	【事務局長】	真栄城正樹(株ラジオ沖縄 営業部長)	5月24日付

【お願い】 人事異動などによる会員の交代や役職の変更等が生じ、機関誌「全広連」の発送先が変更になった場合は所属広告協会事務局へご連絡をお願いします。

【お知らせ】 機関誌「全広連」は令和5年度より現在の年6回の隔月刊から年4回(4月、7月、10月、1月)の季刊へと移行いたします。令和5年度は移行年につき、5月、7月、10月、1月の発行となります。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

### 公益社団法人 全日本広告連盟 加盟37広告協会

全広連は、下記37広告協会の会員の皆様にお送りしています。

全北海道広告協会 秋田広告協会 東京広告協会 山梨広告協会 岐阜広告協会 大阪広告協会 広島広告協会 高知広告協会 熊本広告協会 沖縄広告協会  
 青森広告協会 山形広告協会 横浜広告協会 富山広告協会 静岡県広告協会 神戸広告協会 徳島広告協会 福岡広告協会 大分広告協会  
 岩手広告協会 福島広告協会 新潟広告協会 金沢広告協会 愛知広告協会 山陰広告協会 香川広告協会 佐賀広告協会 宮崎広告協会  
 仙台広告協会 千葉広告協会 長野県広告協会 福井広告協会 京都広告協会 岡山広告協会 愛媛県広告協会 長崎県広告協会 鹿児島県広告協会

全広連の活動はウェブサイトでご覧になれます。 [全広連](#) 🔍